

2026 MFJ 国内競技規則「ロードレース」規則改正について

2026 年度 MFJ 国内競技規則「付則 9 ST1000 技術仕様」について規則を改正いたします。

規則の施行は即時適用となります。

記

【対象規則】：7-3-9 ホイール

【改正内容】：一部規則の改正（赤字下線部箇所）

改正前	改正後
7-3-9-3 ベアリングおよびダストシールの変更が認められるが、材質は公認車両と同じでなければならない。スパーサー（ベアリング外側左右）は公認車両から変更は認められない。ダストシールは取り外すことが許可される。	7-3-9-3 ベアリングおよびダストシール、の変更が認められるが、材質は公認車両と同じでなければならない。スパーサー（ベアリング外側左右）は公認車両から、 <u>改造および変更（材質を含む）が認められる</u> 。ダストシールは取り外すことが許可される。

以上

一般財団法人日本モーターサイクリススポーツ協会
MFJ ロードレース委員会

2026 MFJ 国内競技規則「ロードレース」規則改正について

2026 年度 MFJ 国内競技規則「付則 4 ロードレース競技規則」について規則を改正いたします。
規則の施行は即時適用となります。

記

【対象規則】：18-5-6 スタート手順違反への罰則

【改正内容】：該当する条項番号の修正（赤字下線部箇所）

改正前		改正後	
18-5-6	スタート手順違反への罰則 上記 18-5-1 から 18-5-4 に関するいかなる違反も、当該ライダーにはライドスルーペナルティーが科せられる。ただし、その軽重により、第 4 章 MFJ 裁定規則 43 裁定組織の構成・役割・権限 43-1 大会審査委員会が適用される場合がある。	18-5-6	スタート手順違反への罰則 上記 <u>18-4-1 から 18-4-9-12 および 18-5-1 から</u> 18-5-4 に関するいかなる違反も、当該ライダーにはライドスルーペナルティーが科せられる。ただし、その軽重により、第 4 章 MFJ 裁定規則 43 裁定組織の構成・役割・権限 43-1 大会審査委員会が適用される場合がある。

以上

2026 MFJ 国内競技規則「ロードレース」規則改正について

2026 年度 MFJ 国内競技規則「付則 7 GP フォーミュラ技術仕様」について規則を改正いたします。
規則の施行は即時適用となります。

記

【対象規則】：7-11 ボディワーク（フェアリング・ウィンドスクリーン・フェンダー）

【改正内容】：① 一部文章の修正と規則の追加。（赤字下線部箇所） ② 図 2 の修正。（赤枠内）

改正前	
7-11-7	フェンダーは義務づけられない。装着された場合、フロントフェンダーは下記の範囲を超えてはならない。
7-11-7-1	フロントホイールスピンドルを通る水平の線から上と前に 45° に引かれた線の前（図 2 参照）。
7-11-7-2	フロントホイールスピンドルからリアまで水平に引かれた線の下。
改正後	
7-11-7	フェンダーは義務づけられない。装着された場合、フロントフェンダーの <u>前方端および後方端</u> は下記の範囲とする。（図 2 参照） <u>ただしフェンダーマウント／ブラケット、サスペンションレッグとホイールスピンドルに近いフォークレッグカバー、およびブレーキディスクカバーは、フェンダーの一部とはみなされない。</u>
7-11-7-1	<u>前方端</u> ：フロントホイールスピンドルを通る水平の線から <u>前方・上方</u> に 45° に引かれた線を超えてはならない。
7-11-7-2	<u>後方端</u> ：フロントホイールスピンドルから <u>後方</u> に水平に引かれた線を超えてはならない。
図 2	

2026 MFJ 国内競技規則「ロードレース」 規則改訂について

2026 年度 MFJ 国内競技規則「付則 9 ST1000 技術仕様」について規則を改訂いたします。
規則の施行は即時適用となります。

(1) 出場車両

【対象規則】：1 出場車両

【改訂内容】：特別申請車両の追加（赤字下線部箇所）

改訂前（ブルテンNo.5）	改訂後
1. 出場車両 一般生産型モーターサイクルで、FIM SST および MFJ 公認車両でなければならない。但し、FIM SST 公認車両有効期間が切れた場合でも、MFJ 公認車両有効期間内であれば当該クラスの参加が可能である。なお、ST1000 クラスに特別申請車両として以下の車両が参加することが許可される。 ・aprilia RSV4 Factory 1100（2021 モデル） この車両には、「3 最低重量」に追加規則が適用される。また、必要に応じて随時技術仕様の追加および変更など見直しが行われる場合がある。	1. 出場車両 一般生産型モーターサイクルで、FIM SST および MFJ 公認車両でなければならない。但し、FIM SST 公認車両有効期間が切れた場合でも、MFJ 公認車両有効期間内であれば当該クラスの参加が可能である。なお、ST1000 クラスに特別申請車両として以下の車両が参加することが許可される。 ・aprilia RSV4 Factory 1100（2021 モデル） ・<u>Ducati Panigale V4/V4S（2025 モデル）</u> この車両には、「3 最低重量」に追加規則が適用される。また、必要に応じて随時技術仕様の追加および変更など見直しが行われる場合がある。

(2) 最低重量

【対象規則】：3-1

【改訂内容】：当該車両の追加（赤字下線部箇所）

改訂前	改訂後																
3-1 各気筒数別車両の最低重量は以下のとおりとする。 <table border="1"> <tr> <td>4 気筒</td><td>170kg</td></tr> <tr> <td>3 気筒</td><td>170kg</td></tr> <tr> <td>2 気筒</td><td>175kg</td></tr> <tr> <td>aprilia RSV4 Factory1100</td><td>176kg</td></tr> </table>	4 気筒	170kg	3 気筒	170kg	2 気筒	175kg	aprilia RSV4 Factory1100	176kg	3-1 各気筒数別車両の最低重量は以下のとおりとする。 <table border="1"> <tr> <td>4 気筒</td><td>170kg</td></tr> <tr> <td>3 気筒</td><td>170kg</td></tr> <tr> <td>2 気筒</td><td>175kg</td></tr> <tr> <td>aprilia RSV4 Factory1100 <u>Ducati Panigale V4/V4S</u></td><td>176kg</td></tr> </table>	4 気筒	170kg	3 気筒	170kg	2 気筒	175kg	aprilia RSV4 Factory1100 <u>Ducati Panigale V4/V4S</u>	176kg
4 気筒	170kg																
3 気筒	170kg																
2 気筒	175kg																
aprilia RSV4 Factory1100	176kg																
4 気筒	170kg																
3 気筒	170kg																
2 気筒	175kg																
aprilia RSV4 Factory1100 <u>Ducati Panigale V4/V4S</u>	176kg																

(3) エキゾーストパイプおよびシステム

【対象規則】：7-3-6-2-1

【改訂内容】：一部文章の修正と規則の追加。（赤字下線部箇所）

改訂前	改定後
7-3-6-2-1 音量規制値以内であれば、エキゾーストパイプおよびサイレンサーを改造または、変更しても良い（チタニウム合金・カーボン製のものも使用可）。ただし排気出口の数、および配置は公認車両の状態を維持しなければならない。（例：4into2 から 4into1 への変更、左右 1 本出しから片側 2 本出しへの変更などは許可されない）。	7-3-6-2-1 音量規制値以内であれば、エキゾーストパイプおよびサイレンサーを改造または、変更しても良い（チタニウム合金・カーボン製のものも使用可）。ただし 排気出口の数は公認車両の状態を維持しなければならない。（例：4into2 から 4into1 への変更、左右 1 本出しから片側 2 本出しへの変更などは許可されない）。 <u>排気出口の数は車両公認時のままでなければならない。排気出口は、公認時と同じ側でなければならない。排気出口の位置（上下）は自由とする。</u>

(4) 部品買い取り価格

【対象規則】：7-6-6-1-1 部品買い取り価格（単位：円）

【改訂内容】：当該車両の追加（赤字下線部箇所）

メーカー名	車種	買い取り価格（単位：円）	
<u>ドゥカティジャパン</u>	<u>Panigale V4/V4S</u>	<u>ECU</u>	<u>288,783 円（税抜価格 262,530 円）</u>
		<u>ワイヤーハーネス・セット</u>	<u>140,976 円（税抜価格 128,160 円）</u>

以上

2026MFJ 国内競技規則「ロードレース」規則改訂について

2026MFJ 国内競技規則「付則 11 JP-SPORT 技術仕様」の規則改訂をいたします。また、一部規則の施行に猶予期間を設けます。規則改訂と施行猶予は即時適用となります。

記

- 【対象規則】：7-3-3-11
【改訂内容】：規則追加（赤字下線部箇所）

追加規則
<u>7-3-3-11</u> <u>CBR250RR は新旧の公認モデル間で、フロントフォーク左右アッセンブリーで互換が許可される。</u> <u>予告事項：2027 年度シーズンからは、本項目に定められた互換は認められない。</u>

- 【対象規則】：7-3-15
【改訂内容】：規則施行の猶予期間の設定（赤字下線部箇所）

「2026MFJ 国内競技規則 付則 11 JP-SPORT 技術仕様 7-3-15 クランクケース、エンジンカバー類」に定められた規則は 2026 年 7 月 1 日からの施行とし、2026 年 6 月 30 日までは「2025MFJ 国内競技規則 付則 11 JP250 技術仕様 7-3-15 クランクケース、エンジンカバー類」を適用する。

2025MFJ 国内競技規則 付則 11 JP250 技術仕様 7-3-15 クランクケース、エンジンカバー類
転倒時に地面に接触する恐れのあるオイルを保持するすべてのエンジンケース、カバーは樹脂製（FRP またはカーボン、ケブラー、プラスチック、ジュラコン等）の 2 次カバーによって保護されなければならない。 このすべての 2 次カバーは、厚さ 2mm 以上とし、強固な接着剤またはボルトにて適切かつ確実に固定されていなければならない。2 次カバーの接着性向上のための、必要最低限度のエンジンカバーの表面塗装の剥離は認められる。 ただし、フェアリングの延長により接触部がカバーされる場合は 2 次カバーの取り付けはしなくても良い。 いずれの場合も、保護範囲はオリジナルのエンジンカバー（クラッチおよび ACG カバー部と転倒時接触する恐れがある突出部）の少なくとも 1/2 以上が保護されていなければならない。

- 【対象規則】：7-3-29-2-2
【改訂内容】：規則文修正（赤字下線部箇所）

改訂前	改訂後
7-3-29-2-2 インナーパネルおよび吸気口部のスリットの改造も取り外しも認められる。	7-3-29-2-2 <u>ラムダクトの吸気口に取り付けられたスリットやスクリーンは、改造や取り外しが認められる。</u>

2026MFJ 国内競技規則「ロードレース」ブルテン No.5

一般財団法人日本モーターサイクリススポーツ協会
MFJ 技術委員会

2026MFJ 国内競技規則「ロードレース」規則改訂について

2026MFJ 国内競技規則「ロードレース」の下記項目に関する規則を改訂いたします。規則改訂は即時適用となります。

記

(1) 付則 8 JSB1000 技術仕様

【対象規則】：1 出場車両

【改訂内容】：赤字下線部箇所の追加

改訂前	改訂後
一般生産型モーターサイクルで、FIM SBK および MFJ 公認車両でなければならない。 また、JSB1000 特別申請車両として以下車両が JSB1000 クラスに参加することが許可される。 車両技術仕様は、第 8 項が優先し適用される。 ※JSB1000 特別申請車両 aprilia RSV4 Factory 1100 (2021 モデル)	一般生産型モーターサイクルで、FIM SBK および MFJ 公認車両でなければならない。 <u>但し、FIM SBK 公認車両有効期間が切れた場合でも、MFJ 公認車両有効期間内であれば当該クラスの参加が可能である。</u> また、JSB1000 特別申請車両として以下車両が JSB1000 クラスに参加することが許可される。 車両技術仕様は、第 8 項が優先し適用される。 ※JSB1000 特別申請車両 aprilia RSV4 Factory 1100 (2021 モデル)

【対象規則】：7-24-2-1

【改訂内容】：①規則文の一部語句削除 ②オイルフィルターキャップ変更許可を追記（赤字下線部箇所）

改訂前	改訂後
7-24-2 すべてのエンジンカバー（ACG カバー、クラッチカバー等） 7-24-2-1 側面（サイド）カバーは変更、改造または交換することができる。交換した場合、カバーは、公認車両と同等以上の強度を有し、カバーの総重量は公認車両時のものより軽量であってはならない。	7-24-2 すべてのエンジンカバー（ACG カバー、クラッチカバー等） 7-24-2-1 サイドカバー <u>（オイルフィルターキャップを含む）</u> は変更、改造または交換することができる。交換した場合、カバーは、公認車両と同等以上の強度を有し、カバーの総重量は公認車両時のものより軽量であってはならない。

(2) 付則 9 ST1000 技術仕様

【対象規則】：1 出場車両
【改訂内容】：赤字下線部箇所の追加

改訂前	改訂後
一般生産型モーターサイクルで、FIM SST および MFJ 公認車両でなければならない。 なお、ST1000 クラスに特別申請車両として以下の車両が参加することが許可される。 ・ aprilia RSV4 Factory 1100 (2021 モデル) この車両には、「3 最低重量」に追加規則が適用される。 また、必要に応じて随時技術仕様の追加および変更など見直しが行われる場合がある。	一般生産型モーターサイクルで、FIM SST および MFJ 公認車両でなければならない。<u>但し、FIM SST 公認車両有効期間が切れた場合でも、MFJ 公認車両有効期間内であれば当該クラスの参加が可能である。</u> なお、ST1000 クラスに特別申請車両として以下の車両が参加することが許可される。 ・ aprilia RSV4 Factory 1100 (2021 モデル) この車両には、「3 最低重量」に追加規則が適用される。 また、必要に応じて随時技術仕様の追加および変更など見直しが行われる場合がある。

以上

2026MFJ 国内競技規則「ロードレース」ブルテン No.4

一般財団法人日本モーターサイクルスポーツ協会
MFJ ロードレース委員会
MFJ 技術委員会

2026MFJ 国内競技規則「ロードレース」 規則改訂について

2026MFJ 国内競技規則における「ST1000 指定タイヤ」に関する規則を改訂いたします。規則の施行は即時適用となります。

記

(1) 付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則改訂

【対象規則】：23 タイヤ規制 23-2 ST1000

【改訂内容】：①2025 年までの指定タイヤは 2026 年に限り使用を許可。

②使用が許可される指定タイヤのスペック表の追記。

(赤字下線部箇所)

タイヤは MFJ が指定した下記のワンメイクタイヤのみ使用することができる。

銘柄	用途	F/R	名称	コンパウンド	サイズ
ダンロップ	ドライ	フロント	KR149	M3	120/70R17
			KR149	H3	
		リア	SPORTMAX SLICK	SOFT	200/60R17
			SPORTMAX SLICK	MED	
	ウェット	フロント	KR189	WA	120/70R17
		リア	KR405	WC	190/60R17

※下表の 2025 年までの指定タイヤは、2026 年に限り使用が認められる。

銘柄	用途	F/R	名称	コンパウンド	サイズ
ダンロップ	ドライ	フロント	KR151	H2	120/70R17
			KR133	S1	200/60R17
		リア	KR133	M1	

(2) 付則 6 MFJ カップ／地方選手権ロードレース大会特別規則改訂

- 【対象規則】：4 ワンメイクタイヤ特別規制 4-2 ST1000 4-2-2 項
- 【改訂内容】：①2025 年までの指定タイヤは 2026 年に限り使用を許可。
- ②使用が許可される指定タイヤのスペック表の追記。
- (赤字下線部箇所)

ST1000 指定タイヤ

銘柄	用途	F/R	名称	コンパウンド	サイズ
ダンロップ	ドライ	フロント	KR149	M3	120/70R17
			KR149	H3	
		リア	SPORTMAX SLICK	SOFT	200/60R17
			SPORTMAX SLICK	MED	
	ウエット	フロント	KR189	WA	120/70R17
		リア	KR405	WC	190/60R17

※下表の 2025 年までの指定タイヤは、2026 年に限り使用が認められる。

銘柄	用途	F/R	名称	コンパウンド	サイズ
<u>ダンロップ</u>	<u>ドライ</u>	<u>リア</u>	<u>KR133</u>	<u>S1</u>	<u>200/60R17</u>
			<u>KR133</u>	<u>M1</u>	

(3) 付則 9 ST1000 技術仕様

- 【対象規則】：7-3-8 タイヤ 7-3-8-2 ST1000 指定タイヤ
- 【改訂内容】：①一部誤記の修正。
- ②2025 年までの指定タイヤは 2026 年に限り使用を許可。
- ③使用が許可される指定タイヤのスペック表の追記。
- (赤字下線部箇所)

下記のタイヤのみ使用することができる。

銘柄	用途	F/R	名称	コンパウンド	サイズ	適用
ダンロップ	ドライ	フロント	KR149	M3	120/70R17	全日本・地方選手権 適用
			KR149	H3		
		リア	SPORTMAX SLICK	SOFT	200/60R17	全日本・地方選手権 適用
			SPORTMAX SLICK	MED		
	ウエット	フロント	KR189	WA	120/70R17	全日本・地方選手権 適用
		リア	KR405	WC	<u>190/60R17</u>	

※下表の 2025 年までの指定タイヤは、2026 年に限り使用が認められる。

銘柄	用途	F/R	名称	コンパウンド	サイズ	適用
<u>ダンロップ</u>	<u>ドライ</u>	<u>フロント</u>	<u>KR151</u>	<u>H2</u>	<u>120/70R17</u>	<u>全日本選手権 適用</u>
		<u>リア</u>	<u>KR133</u>	<u>S1</u>	<u>200/60R17</u>	<u>全日本・地方選手権 適用</u>
			<u>KR133</u>	<u>M1</u>		

以上

2026 MFJ 国内競技規則「ロードレース」について

2026MFJ 国内競技規則 付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則 26-2-1 項に基づき、「ETS Renewablaze NIHON2 R100」の性状表を公示いたします。

記

					
Haltermann Carless UK LTD. Cedar Court Guildford Rd, Leatherhead, Surrey, KT22 9RX UK					
Certificate 100000311400					
Date Printed: 17/09/2025					
Customer PO: 4500141077					
Delivery Note: 80286221 000010					
Order No.: 66264090 000010					
Customer No.: 1704078					
Material No.: 2018098 Spec. Version: 09.09.2025 UK					
Material: Renewablaze Nihon2 R100					
53 L KEG (Steel Drum, 1A1)					
Batch: 0000075598					
Analyzed: 0000/00/00					
Divy. Qty: 26,553.0 L15					
Container ID: MRKU4850412					
Ship from: Harwich Harwich, ES, United Kingdom Page: 1 / 2					
Feature	Units	Results	Limits		Method
			Minimum	Maximum	
Density 15°C	kg/m³	751.8	-	783.0	ASTM D4052
R.O.N. (Corrected)		101.6	100.0	102.0	ASTM D2699
M.O.N. (Corrected)		89.2	87.5	90.0	ASTM D2700
Antiknock Index (R+M)/2		95.4	-	-	CALCULATION
Sensitivity (RON - MON)		12.4	-	-	ASTM D2699-2700
I.B.Pt.	°C	40.6	-	-	ASTM D86
10% v/v Evaporated at	°C	60.4	-	70.0	ASTM D86
50% v/v Evaporated at	°C	84.0	70.0	105.0	ASTM D86
90% v/v Evaporated at	°C	155.9	-	180.0	ASTM D86
% Evaporated at 70°C, E70	%(V/V)	26.3	-	-	ASTM D86
% Evaporated at 100°C, E100	%(V/V)	67.3	-	-	ASTM D86
% Evaporated at 150°C, E150	%(V/V)	86.1	-	-	ASTM D86
% Evaporated at 180°C, E180	%(V/V)	98.0	-	-	ASTM D86
F.B.Pt.	°C	182.1	-	220.0	ASTM D86
Residue	%(V/V)	1.1	-	2.0	ASTM D86
Vapour Pressure (DVPE) 37.8°C	kPa	47.1	44.0	78.0	ASTM D5191
Benzene content	%(V/V)	0.3	-	1.0	EN ISO 22854
Aromatic content	%(V/V)	23.20	-	42.00	EN ISO 22854
Olefin content	%(V/V)	3.30	-	18.00	EN ISO 22854
Saturate content	%(V/V)	34.10	-	-	EN ISO 22854
Sulphur Content	mg/kg	6.2	-	10.0	ASTM D5453
Diolfins	%(m/m)	0.163	-	1.000	ASTM D6729
Styrene & Alkyl Derivatives	%(m/m)	< 0.001	-	1.000	ASTM D6729
Lead	mg/l	< 2.5	-	5.0	ASTM D3237
Phosphorous Content	mg/l	< 0.20	-	1.30	ASTM D3231
Manganese Content	mg/l	< 0.25	-	2.00	ASTM D3831
Nitrogen	mg/kg	12.0	-	2000.0	ASTM D4629
Water content	%(m/m)	0.023	-	-	ASTM E203
Oxidation Stability	min.	> 360	360	-	ASTM D525
Gum, - unwashed	mg	18.5	-	-	ASTM D381
		per 100ml			



Haltermann Carless UK LTD. Cedar Court Guildford Rd, Leatherhead,
Surrey, KT22 9RX UK

Certificate 10000311400

Date Printed: 17/09/2025
Customer PO: 4500141077
Delivery Note: 80286221 000010
Order No.: 66264090 000010
Customer No.: 1704078

Page: 2 / 2

Feature	Units	Results	Limits		Method
			Minimum	Maximum	
Gum, - washed	mg	< 0.5	-	5.0	ASTM D381
Copper Corrosion, 3hrs at 50°C	-	per 100ml			
		1A	-	-	ASTM D130
		Class 1A or 1B			
Methanol Content	%(V/V)	< 0.20	-	0.20	EN ISO 22854
Ethanol	%(V/V)	0.36	-	10.00	EN ISO 22854
MTBE Content	%(V/V)	< 0.20	-	0.20	EN ISO 22854
Oxygen Content	%(m/m)	6.23	-	7.50	EN ISO 22854
Carbon Content	%(m/m)	81.32	-	-	ASTM D5291
Hydrogen Content	%(m/m)	Normalised			
		12.45	-	-	ASTM D5291
Stoichiometric Air/Fuel Ratio		Normalised			
		13.36	-	-	SAE J1829
Estimated Net Heat of Combustion	MJ/kg	40.010	-	-	ASTM D3338MOD

COA Additional Information

The certificate is electronically generated and valid without signature.

Haltermann Carless UK Ltd.

For inquiries please contact Customer Service or local Sales

以上

2026 MFJ 国内競技規則「ロードレース」 規則改訂について

2026MFJ 国内競技規則「付則 9 ST1000 技術仕様」に規則改訂をいたします。規則の施行は即時適用となります。

記

【対象規則】：9 性能調整車両優遇措置

【改訂内容】：パーツの追加（赤字・アンダーライン箇所）

《変更後》

対象クラス：ST1000

●性能調整優遇措置承認部品

メーカー名	車種（型式）	部品名	部品番号
ヤマハ発動機(株) 購入・お問い合わせ先：（株）ワイスギア 静岡県浜松市中央区元城町115-10 元城町共同ビル Tel 0120-819049	YZF-R1 / YZF-R1M (JYARN65*) *は変数	ストレーナーカバー-Assy	QYR-YSK-BMP-001
スズキ(株) 購入・お問い合わせ先：（株）ヨシムラジャパン 神奈川県愛甲郡愛川町中津6748 Tel 046-286-3868	GSX-R1000/R (DM11G)	ST-RカムシャフトSET	210-50A-0001
		シリンダヘッド面研0.5mm	—
		No.1、4気筒のアップパーファンネル除去	—
カワサキモータース(株) 購入・お問い合わせ先： 株式会社カワサキモータースジャパン 兵庫県明石市川崎町1-1 Mail：sh.kmj_motor-sport@global.kawasaki.com	ZX-10R (ZXT02L/M) (ZXT03A/B)	CAMSHAFT-COMP/IN	J949118-0977
		CAMSHAFT-COMP/EX	J949118-0978
		SPRING-ENGINE VALVE/IN	J949078-0740
		SPRING-ENGINE VALVE/EX	J949078-0749
		HEAD-COMP-CYLINDER 面研前・ホ-ト研磨前	11008-1443
		HOLDER-THROTTLE BODY 追加工前	16066-0013
aprilia(アプリリア) (ピアッジオグループジャパン) 購入・お問い合わせ先：全国のアプリリア正規販売店 https://www.aprilia.com/jp_JA/dealer-locator/	RSV4 Factory 1100 E5 (ZD4KY)	燃料ポンプ	2B013251
		フロントスロットルボディ	1A026714
		リアスロットルボディ	1A026715
		インテークインシュレーター	1A026562
		インテークインシュレーターホースバンド	1A026530
		<u>フィルターハウジングベース</u>	<u>2B013429</u>
		エアフィルターアップパーハウジングカバー	2B013431
		フロントロアファンネル	2B013432
		リアロアファンネル	2B013433

以上

2026 MFJ 国内競技規則「ロードレース」 規則改訂について

2026 MFJ 国内競技規則「付則 5 全日本ロードレース選手権大会特別規則」に規則改訂をいたします。規則の施行は即時適用となります。

記

【対象規則】：13 ゼッケンナンバー

【改訂内容】：規則追加と規則文の順序変更（赤字・アンダーライン箇所）

改訂前	
13-1	前年度全日本選手権の有得点者で、当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが指定される。
13-2-1	年間出場ライダーでランキング順位に従って定められたゼッケンナンバーを希望ゼッケンに変更する場合は、年間エントリー受付時に申請することができる。希望ゼッケンは最終的に MFJ 中央スポーツ委員会にて許可が必要であり、別途定める料金を必要とする。 希望ゼッケンに関する詳細は ART 規約に基づく。
13-2-2	その他の年間出場ライダーには ART により年間ゼッケンナンバーが指定される。
13-3	スポット参戦ライダーのゼッケンは、大会ごとに主催者より指定される。
13-4	ゼッケンナンバーは、1～99 までの 2 桁の数字が指定される。

改訂後	
13-1	ゼッケンナンバーは、1～99 までの 2 桁の数字が指定される。
<u>13-2</u>	<u>年間指定ゼッケン</u>
<u>13-2-1</u>	<u>前年度全日本選手権の有得点者は、当該クラスのランキング順位に従って年間指定ゼッケンナンバーが指定される。</u>
<u>13-2-2</u>	<u>その他の年間出場ライダーには ART により年間ゼッケンナンバーが指定される。</u>
<u>13-3</u>	<u>大会ごとに指定されるゼッケン</u>
<u>13-3-1</u>	<u>年間指定ゼッケンナンバーを持たないスポット参戦ライダーには、大会主催者によりゼッケンナンバーが指定される。</u>
<u>13-3-2</u>	<u>J-GP3 クラス特別参加枠参戦者は、MFJ によりゼッケンナンバーが指定される。</u>
<u>13-4</u>	<u>希望ゼッケン</u>
<u>13-4-1</u>	<u>年間出場ライダーでランキング順位に従って定められたゼッケンナンバーを希望ゼッケンに変更する場合は、年間エントリー受付時に申請することができる。希望ゼッケンは最終的に MFJ 中央スポーツ委員会にて許可が必要であり、別途定める料金を必要とする。希望ゼッケンナンバーに関する詳細は ART 規約に基づく。</u>
<u>13-4-2</u>	<u>希望ゼッケンナンバーは、以下の申請資格をすべて満たした者により申請することができる。</u>
	<u>① 2025MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズに参戦（年間エントリー・スポットエントリー問わず）した実績があること。</u>

② 2026MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズに年間エントリーを行っていること。

13-4-3 希望ゼッケンの使用条件

① ゼッケンナンバー「1」「2」「3」は、前年シリーズランキングにより指定された者のみ使用できる。

※2025MFJ 全日本ロードレース選手権シリーズの各クラスでチャンピオンを獲得した者が 2026 年シリーズも同一クラスに参戦する場合、チャンピオンナンバー「1」の使用を強く推奨する。

② 指定ゼッケンを割り当てられたライダーが希望ゼッケンを使用することにより未使用となった年間指定ゼッケンナンバーは、希望ゼッケンとして選択することができる。

③ 希望ゼッケン番号は、翌年も希望ゼッケンを申請する場合、同じ番号を選択することを原則とする。

④ 希望ゼッケンは基本的に 2 桁番号とするが、スポンサー要素が高い場合は 3 桁も使用できる。

⑤ J-GP3 特別参加枠のライダーは、希望ゼッケンを申請・使用することはできない。

13-4-4 希望ゼッケンの優先順位

① 年間指定ゼッケンと希望ゼッケンが重複した場合

年間指定ゼッケンの利用者が優先される。これは希望ゼッケンを複数年利用している場合も同様とする。但し、年間指定ゼッケン獲得者の承諾がある場合は、希望者が使用することができる。

② 希望ゼッケン同士が重複した場合

前年シリーズランキングの上位者が優先される。但し、双方協議し上位者の承諾がある場合、希望者が使用することができる。

③ クラス変更時の優先順位

JSB1000 > ST1000 > ST600 > J-GP3 （優先順位はより左側のクラスが高い。）

例) 2025 年シリーズで ST1000 クラスと ST600 クラスに参戦した者が、2026 年シリーズで共に JSB1000 クラスにステップアップし、希望ゼッケンが重複した場合、ST1000 クラスに参戦していた者が優先される。

13-4-5 希望ゼッケンの例外規定

① 希望ゼッケンナンバーの申請資格は、基本的に 13-4-2 希望ゼッケン申請資格条件を満たす者とするが、前年の全日本選手権シリーズに参戦実績がない本年の ART 会員と本年の全日本ロードレース選手権スポットエントリー者であっても、チームが伝統的に使用しているゼッケンのプロモーション要素が考慮に値する場合、例外として希望ゼッケンの申請を MFJ は認める場合がある。

② 希望ゼッケンは翌年も同じ番号を選択することが原則だが、希望ゼッケン変更の必要性が明らかでない場合（チーム・スポンサー変更等）は、MFJ が希望ゼッケンの変更を認める場合がある。

以上